

済生会は医療連携を通して、地域の診療所と共に皆様の健康をリレーします。

Baton

地域医療連携室だより

夏号
vol.65

平成25年7月1日発行



TOPICS

- P2 **【特集】**
新潟市における
地域連携ネットワークの
取り組みと今後の課題
- P4 登録医紹介(ときわ診療所／心療内科・神経科高橋クリニック)
- P6 職場探訪(訪問看護ステーション・生理機能検査室)
- P7 臨床検討会・特別例会 開催報告
第12回肝臓病教室のお知らせ
- P8 インフォメーション

地域医療支援病院 臨床研修病院 地域がん診療連携拠点病院



済生会新潟第二病院・地域医療連携室

新潟市西区寺地280-7 TEL 025-233-6182 FAX 025-231-5763

<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>

新潟市における 地域連携ネットワークの 取り組みと今後の課題



現在、日本は世界に例を見ない高齢化が進んでおり、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となる2025年には医療費や社会保障費などの急増が懸念されています。これを踏まえ、政府は先般「社会保障・税一体改革法」を成立させました。その中の医療・介護の分野においては、今後、病院や施設での療養から在宅での医療・介護へのシフトが進められようとしています。地域における在宅生活環境を整備するには、様々な職種の関わりが必要となります。それらの支援を円滑に行うため、いま各地区で“多職種による地域連携ネットワーク”が設立されています。

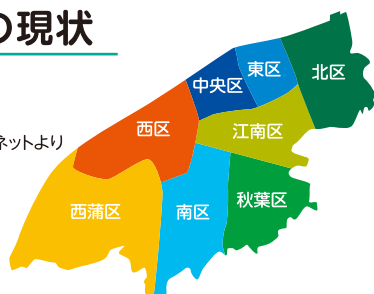
現状

新潟市における高齢化率は、全区で24~27%と大きな差異はありません。しかし、2025年には高齢化率は30%を超え、およそ3人に1人が高齢者となります。一方で、提供できる医療体制は、各区によって診療所や病院の数、往診や訪問診療可能な診療所、訪問看護ステーションの数などにおいて、人口当たりの医療提供施設数にかなりのバラつきがある現状にあります(新潟市提供の図参照)。

行政も、医療と介護の充実に向けて施策を講じました。新潟県は在宅医療・介護の充実を図るため「地域保健医療計画」を見直し、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)・5事業(救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児科医療)に在宅医療を加え、新たな医療連携体制の構築を進めることとなりました。また、新潟市でも地域医療体制の充実・強化に向けた独自の医療提供体制の整備を目的とした、「新潟市医療計画」の策定を進めております。

新潟市の現状

図：新潟市提供
データ：にいがた医療情報ネットより



■ 西蒲区		■ 西區	
人口	61,766	人口	151,608
高齢化率	25.1%	高齢化率	23.0%
在宅療養支援診療所	7	在宅療養支援診療所	6
一般診療所	44	一般診療所	123
(内)訪問診療	18	(内)訪問診療	40
往診(24時間対応)	7	往診(24時間対応)	13
往診(24時間外)	14	往診(24時間外)	30
病院	4	病院	9
訪問看護	5	訪問看護	8

■ 中央区	
人口	180,296
高齢化率	22.9%
在宅療養支援診療所	18
一般診療所	222
(内)訪問診療	45
往診(24時間対応)	17
往診(24時間外)	58
病院	14
訪問看護	13

■ 南区	
人口	47,127
高齢化率	22.7%
在宅療養支援診療所	1
一般診療所	27
(内)訪問診療	8
往診(24時間対応)	2
往診(24時間外)	11
病院	3
訪問看護	2

■ 東区	
人口	136,186
高齢化率	22.6%
在宅療養支援診療所	3
一般診療所	84
(内)訪問診療	19
往診(24時間対応)	3
往診(24時間外)	26
病院	5
訪問看護	7

■ 秋葉区	
人口	78,463
高齢化率	25.4%
在宅療養支援診療所	4
一般診療所	45
(内)訪問診療	8
往診(24時間対応)	3
往診(24時間外)	12
病院	3
訪問看護	4

■ 北区	
人口	77,408
高齢化率	22.5%
在宅療養支援診療所	1
一般診療所	46
(内)訪問診療	11
往診(24時間対応)	2
往診(24時間外)	14
病院	4
訪問看護	1

■ 江南区	
人口	69,919
高齢化率	22.5%
在宅療養支援診療所	1
一般診療所	56
(内)訪問診療	17
往診(24時間対応)	5
往診(24時間外)	14
訪問看護	3

取り組みの実際

地域連携ネットワークとは、どのようなものか見てみましょう。現在、新潟市においては中央区(3団体)、秋葉区(1)、西蒲区(1)、北区(1)で地域連携ネットワークが設立され、活動しています。

ここでは、実際に当院が事務局として関わりのある2つのネットワークについてご紹介いたします。

1 しもまち地域連携ネットワーク

- 在宅の地域連携の強化、関係機関・多職種のネットワーク構築を目的とし発足。
- 4人の診療所医師が中心となり、不在時など相互にそれぞれの患者さんを診察する体制を構築。
- 医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ソーシャルワーカーなど地域の医療・介護に携わる様々な職種が参加する定期的なミーティング、研修会などを開催（医療介護相互の理解が深まる）。

(現在設立に向け準備中)

2 にいがた西区地域連携ネットワーク

- 西区における地域連携ネットワークの構築、在宅医療の後押し、病病連携の体制強化を目的とし、地域全体で支えあう仕組みづくりを推進。
- 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、行政担当、当院連携担当者などが集まり、今年4月に第1回幹事会を開催。
- 今後、各職種団体に活動を水平展開させる予定。



課題

今後更に取り組みが進むと思われる地域連携ネットワークですが、課題もあります。在宅での生活が困難になった場合の入院や緊急時の受け入れ先となる病院との連携です。いま、新潟市内には約45の病院があります。高度救命を行う病院、特定の病気の治療に特化した病院、精神科病院、治療よりも療養を目的とした病院など、それぞれの病院が担う役割・使命は様々です。在宅療養をされている方が緊急の治療が必要となった時、いかにスムーズに目的に合った病院に受診・入院出来るか。病院同士でも各々の病院の役割を認識し、同じ地域にある病院として、互いに連携を図り入院や治療が必要な患者さんをサポートしていかなければなりません。

また、一人の患者さんが住み慣れた地域で生活を送る上で、医師だけでなく訪問看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーなど様々な職種との関わりが必要となります。みな、その分野の“プロフェッショナル”ですが、お互いに他の職種がどんな事が出来るのか、どんな知識があるのか、知らない場合があります。一人のプロだけでは患者さんの健康な在宅生活は約束できません。

まとめ

先にも述べた『2025年』には、現在よりも更に少子化が進むことが予想されます。そして、高齢者単独の世帯も、国の試算では2005年に比べ倍増します。

来たるべき超高齢社会を迎えるにあたり、多職種がお互いの専門性をよく理解し、切れ目のない総合的なケアの提供体制の整備を進めていかなければなりません。

当院も地域医療支援病院として、地域の医療を支える使命があります。前述の『しもまち地域連携ネットワーク』、『にいがた西区地域連携ネットワーク』の幹事の一員として、主に緊急時の受け入れや他の病院との協力体制などを確立していきたいと思っております。

オープンシステム



ときわ診療所
内科・消化器内科・放射線科

はたけやま まこと
富山 眞先生



専門領域

プライマリ・ケア、内科（消化器）

医師・医院PR

当診療所は、新潟地震の際全国から駆けつけた医療班による救援活動から発展し昭和40年に設立されました。平成12年4月に現有地へ移転し、内科中心の一般外来・在宅医療・労災医療（振動障害）・健診等を担い、また診療所をご支援下さる約2,000名の「健康友の会」と協力し、健康セミナー・健康班会・体操教室・街角健康チェック等の保健活動にも取り組んでいます。特に在宅医療についてはその受け皿になりたいと考え、平成25年4月に機能強化型在宅療養支援診療所を届け出ました。



ときわ診療所
内科・消化器内科・放射線科
〒950-0036
新潟市東区空港西1-15-17
☎025-274-2714

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	外来	外来	外来	外来	外来	外来
14:00~16:00	訪問診療	×	訪問診療	訪問診療	訪問診療	×
16:00~18:00	外来	外来	×	外来	外来	×

◎休日診／土曜午後、日曜祝祭日



登録医訪問

心療内科・神経科高橋クリニック

精神科・神経科・心療内科

たかはし くにあき
高橋 邦明 先生



専門領域

日本精神神経学会認定精神科専門医

医師・医院PR

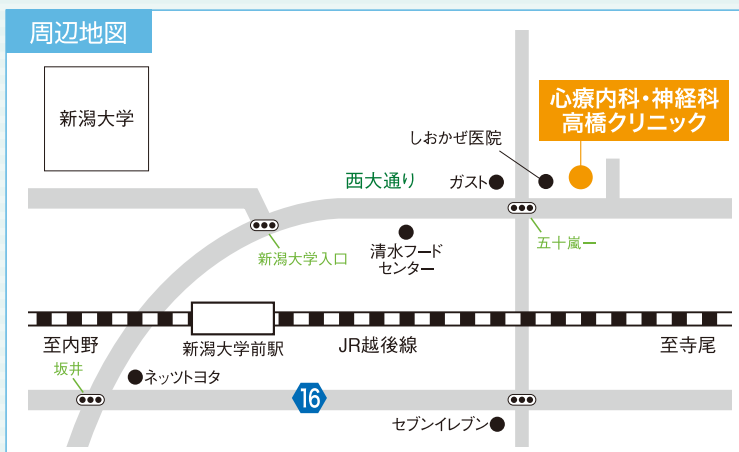
ストレス社会といわれています。過度のストレスによって、こころや身体のバランスを崩すことがあります。身体の不調を訴えて内科や外科、婦人科などを受診し、精査しても大きな異常が見つからない時は、その身体的不調は過度のストレスと関連しているかもしれません。身体症状の背後に、うつ病やパニック障害、心身症などのこころの病気が隠れている可能性があります。当院では、そういう疾患を診断し、治療していきます。



心療内科・神経科高橋クリニック
精神科・神経科・心療内科
〒950-2045
新潟市西区五十嵐東1-10-19
☎025-268-6060

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	×	○	○
15:00~18:00 (※土曜日は14:00~17:00)	○	○	○	×	○	○*

◎休診日／木曜、日曜祝祭日 ◎予約制





当院の部署を

職場探訪

紹介します!

職場探訪は、院内報MINDに毎月掲載しているコーナーです。地域のみなさんにも紹介させていただきます。

訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは開設して今年で14年目になります。

現在、看護師6名、理学療法士2名、事務担当1名(病院経理業務兼務)で業務を行っています。場所は2階の相談室の奥に8名のデスクがあります。

訪問看護の主な業務は、

○病状の観察・カテーテル類の管理や、点滴などの医療的処置・服薬管理

○排便コントロール・入浴や清拭などの清潔援助・生活の場の環境調整

など様々です。また、理学療法士によるリハビリも行っています。

その他、ケアマネージャーなどの関係機関との調整役や、毎月の主治医への報告書の作成なども行っています。

現在100名前後の利用者さんがいますが、3歳~104歳まで幅広い年齢層のお宅に訪問させていただいていますし、緩和ケアが必要な方、難病の方など、疾患を問わず訪問しています。

一人で訪問し、判断や対応を行うため、お昼や夕方などは、にぎやかに情報交換を行い、また次の訪問へ出掛けていきます。



今年は雪が少なく、車が雪で動かなくなる事もなく、春を迎える事ができました。夏は暑さと紫外線。冬は寒さと雪と闘いながら毎日訪問しています。こんな事をいうと、訪問看護って大変。と思われてしまいそうですが、春になると桜が咲き、田んぼに水が入り、一面が緑になってとてもきれいです。新潟の四季を感じながら日々業務にあたっています。

日中不在な事が多く、連絡をとりにくい事も多いと思いますが、在宅療養の事でお困りの事などありましたら、いつでもご相談ください。

今後とも訪問看護ステーションをよろしく願います。

(訪問看護ステーション 高橋葉子)

生理機能検査室

生理機能検査室は現在男性2名、女性4名の臨床検査技師6名と腹部エコー室の助手1名の計7名で業務を行っています。

循環器内科や心臓血管外科から依頼される検査が多く、心電図や心エコーをはじめ、トレッドミル運動負荷試験、心筋シンチ、心臓カテーテル検査と、医師や看護師さんと協力しながら行う検査も多くあります。

その他、入院時検査の心電図、術前検査の肺機能検査、また脳波や神経伝導速度検査、精密肺機能検査と幅広く検査を行っています。エコーでは糖尿病患者さんの動脈硬化のスクリーニングとして頸動脈エコーや、整形外科から術前・術後の検査として下肢静脈エコーも行っています。また、2階の検診センターにおいても生理検査室と放射線科の技師が腹部エコーを行っています。隣のエコー室では、午前に医師が腹部エコーや乳腺・甲状腺のエコーを行っています。

エコー検査の際には、移動が大変な患者さんでも生理検査室までおろしていただいています。機械を入れる広いスペースがあること、部屋を暗くすることなどより良い画像診断を行うためですので、ご理解と



ご協力をお願い致します。

さらに、生理検査室では昨年6月よりCPXという心臓リハビリを安全に受けるための運動量を定める検査も始まりました。

今後も各診療科のニーズに応えられるよう努めていきたいと思っております。

なお、検査には診察券が必要となりますので、患者さんをお連れする際には忘れずに持たせていただきますよう、ご協力お願い致します。

(生理機能検査室 阿部千帆)

臨床検討会・特別例会 開催報告

当院では病診連携活動の一環として毎月臨床検討会を開催しており、院内各科の先生方が講演形式で情報提供を行っています。例年5月は特別例会として、外部から講師をお招きして講演をお願いしていますが、本年は新潟大学医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻 内部環境医学講座の齋藤昭彦教授から「医療関連感染症をどう減らすか」と題してお話をいただきました。今回は講演内容が感染に関係していることから院内感染防止対策委員会と共催というかたちで開催されました。講演は感染を予防するための標準予防策、特に基本中の基本である手指衛生を施設の文化にする重要性から始まり、最近話題の風疹を含んだ各種感染症のお話。それらに対する予防接種の効果と副反応のお話等盛りだくさんの内容でした。また時折参加している研修医に質問して講演の理解度を確認したり、例年の会とは少し違った非常に和やかな雰囲気で行いました。感染症の感染様式の正しい理解とワクチンによる集団免疫の必要性を説く内容を通して、医療関係者に対する予防接種と標準予防策の徹底の重要性を再認識した講演でした。

(副院長 多賀紀一郎)



▲ 齋藤 昭彦 教授



第12回 肝臓病教室の お知らせ

参加無料

日時 平成25年7月27日(土)
13:30~16:00

場所 済生会新潟第二病院
10階会議室

- 患者さん及び家族同士の意見交換会もあります
- 駐車料金は無料です

この教室は、患者さんに肝臓病について正しく理解していただくことを目的に開催いたします。病気に対する不安感を取りのぞいていただくためにもぜひご参加ください。ご家族の方もご参加いただけます。

テーマ

治せる時代になりました
肝臓がん
なる前に、なった後も



当教室は事前のお申し込みが必要です。

お申込み・お問い合わせは、
済生会新潟第二病院 地域医療連携室
TEL: 025-233-6182 (直通)



新規登録医紹介

医院名	診療標榜科目	住所	登録医名
たかはし耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	新潟市秋葉区あおば通1-8-3	高橋 紳一郎
よいこの小児科さとう	小児科	新潟市中央区神道寺1-5-47	佐藤 勇

※H25年6月25日現在、登録医総数は400人です。

臨床検討会開催のお知らせ

第182回臨床検討会

- 日時● 平成25年7月23日(火) 19:00～
- 会場● 済生会新潟第二病院10F会議室
- 担当● 外科

第183回臨床検討会

- 日時● 平成25年9月24日(火) 19:00～
- 会場● 済生会新潟第二病院10F会議室
- 担当● 腎・膠原病内科



連携医療機関のみなさま

表紙を飾ってみませんか？

引き続き、表紙を飾っていただける
写真を募集しています。

ご自慢の写真はありませんか？

お問い合わせは、
地域医療連携室までお願い致します。

編集後記

皆さんご承知のように、富士山が世界文化遺産に登録されました。日本最高峰の富士山は昔も今も人々が信仰する山で、浮世絵などの芸術作品に描かれていることも評価されたそうです。もっと前に遺産登録されていてもおかしくないくらい、日本を象徴する山として世界的にも有名ですが、過去に世界自然遺産の登録を目指したにも関わらず、ごみ問題等で断念した経緯がありました。悲しいことに、自然を守っていくには努力が必要なのが現実です。県内では、暫定リストに含まれている佐渡鉱山が2017年度の登録を目指しています。これを機に、皆さんも身近な自然に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(大澤 希美代)

